

## 令和 8 年(第 2 9 回)士幌町下の句かるた大会開催要項

- 1 趣 旨 町内のかるた愛好者が一堂に集い、かるたを通じて親睦と交流を図り、日本の伝統ある下の句かるたの普及と継承を図る。
- 2 主 催 士幌町下の句かるた大会実行委員会
- 3 運営協力 全日本下の句歌留多協会 音更支部 鳳クラブ
- 4 後 援 士幌町・佐倉地区公民館
- 5 開催期日 令和 8 年 2 月 2 2 日 (日)  
受付 9 : 0 0 開会 9 : 3 0  
閉会 1 4 : 3 0 予定
- 6 開催場所 総合研修センター武道館
- 7 参加対象 (1) チーム：小学生以上でチームに最低 1 名以上の町内在住者及び勤務者で構成されるチーム  
(2) 個人：町内在住者及び勤務者で小学生以上
- 8 種 目 小学生の部 A 級 (中上級者)  
〃 B 級 (初級者)  
一般の部 (中学生以上) A 級 (上級者)  
〃 B 級 (中級者)  
〃 C 級 (初級者)
- 9 参加方法 (1) チーム編成は 3 名とし、登録は 4 名までとする。  
(2) チームは公民館、団体、職場等自由とし制限はしない。  
(3) 個人での申し込みも可とし、その場合事務局でチーム編成をする。
- 10 参加料 なし
- 11 競技方法 (1) 全日本下の句歌留多協会競技規定に準じて行うが、一部大会ルールを設ける。  
※大会ルール…試合中の選手交代を認める。(登録 4 名のチーム)  
(2) 1 チーム最低 2 試合行う。

- 12 昼 食 午後も試合を行うので昼食を各自で用意してください。  
武道館にブルーシートを敷くので、その上で食べてください。
- 13 参加申込 令和8年2月13日(金)までに教育委員会教育課へ申し込み。  
(チーム名、選手名、住所、(学年)を記入し提出する。)
- 14 合同練習会及び講習  
1月23日・29日・2月6日・13日・20日(金曜日)  
午後7時～午後9時  
総合研修センター和室  
※安全のため児童が遅くまで参加する場合は保護者等の迎えを  
お願いします。

## 全日本下の句歌留多協会競技規定

- 第1条 出場選手は、大会規定を守り、スポーツ精神に則り正々堂々競技すること。
- 第2条 大会参加チームは、三名一組で一敗棄権のこと。
- 第3条 審判員、読手員は、誤審、誤読なき様あくまでも公正にてかつ慎重を期して行なうこと。
- 第4条 各自取り札の配置、範囲は、高さ 27cm、巾、両端は 1m20cm 以内、中央は 1m 以内とし、守備、中堅、突の境界を 2cm 以上あけること。
- 第5条 各自の持ち札は五枚以上とし、五枚切れ以降は三枚以上、三枚切れ以降は、自由なれど、持ち札五枚切れ以降は、巾 1m 以内、二枚の時は中段以上、中央 50cm 以内、一枚の時は上段中央とする。
- 第6条 (1) 取り札は正一枚取りのこと。お手突きは先手、後手共有効とし、一度のモーションであれば取り札以外の数枚の札をお手突きしても一枚のこと。  
(2) 相対する選手以外の行動で起きたお手突きは無効とする。  
(3) 送り札は自由なるも相手選手が確認できるよう、手渡すのを原則とし、投げ渡すことを禁ずる。  
(4) チーム内の守備位置異動（選手異動）は各々のチーム交互に異動権利を有するものとするも相手チーム了解の上行うこと。  
(5) シートには、守備範囲を施し、正しい位置に取り札を置くべく配慮のこと。  
(6) 読手員の読みに入った場合、選手はシートの上に手を出さざること。
- 第7条 チーム内でのポジション異動は、五枚切れ以前は読み上がり札三声以上、それ以降は一声以上とし、その間の相手チームの持ち札の移動は認めざるものとする。
- 第8条 「待った」は前句読み中にして一声とし、以降の「待った」及び取り札の読みに入ってからは無効とする。
- 第9条 相対する選手以外の抗議は、同一チームの選手といえども発言することは出来ない。

## 全日本下の句歌留多協会競技規定

- (一) 競技開始前及び終了時には、対戦選手間について交礼をなし、試合の勝ちチームは取札の整理をして、競技記録係へ持参し、勝敗結果を報告すること。
- (二) 参加申込み後のチーム及び選手の変動、一敗後の再申込みは出来ない。
- (三) 競技進行に著しく妨げになるような言動行為及び、酒気を帯びての選手が対戦している時は、大会役員協議の上、競技中止を宣し、相手チームの勝ちとする事が出来る。
- (四) 審判長、審判員の判定には全面服従すること。